

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		スポーツ振興課長 飯島 伸一	
主管課(関係課)【2】		スポーツ振興課	
施策名【3】		分野【4】	
創3-3 スポーツ・レクリエーション活動の振興		豊かな学び・文化が息づくために	
まちはづくりの方向性【5】		創造性の育つまちはづくり	
施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	
市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむためには、スポーツに触れあう機会を増やすことが必要です。そのために、スポーツ施設を確保するとともに、より効果的な施設、イベント運営体制についても検討する必要があります。そのため、NPO法人化した西東京市体育協会や指定管理者などとスポーツを活かしたまちはづくりの検討を進める必要があります。		・地域におけるスポーツ活動の担い手の確保 ・スポーツを通じたまちはづくりの実施 市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。	
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇平成25年度に東京国体が開催されることに伴い、市民がよりスポーツとのふれあう契機が増えていくものと思われます。			
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
1	スポーツ・レクリエーション活動を支援します	誰もが親しむことができる市民の生涯スポーツの推進	
2	スポーツ環境の整備を進めます	市民の多様なニーズに応えるスポーツ施設の整備充実、国体の取組の推進	

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実」に対する市民満足度	目標値	35%			単位	%		
		算出式・説明	西東京市においては近年、転入者の増加が見られ、市民のライフスタイルも多様化していると考えられます。これに対応するためにスポーツ・レクリエーション活動を促進する必要があります。市民意識調査で把握します。								
		実績値	29.5	29.5	29.5	29.4					
		達成率	84%	84%	84%	84%					
	指標2	名称	総合型地域スポーツクラブ会員数	目標値	1,000人			単位	人		
		算出式・説明	地域に根付いたスポーツクラブを中心として、より多くの市民が参加しやすい機会の提供が必要です。特に、若年層から高齢者層までに利用しやすい環境づくりが重要です。								
		実績値	720	825	795						
		達成率	72%	83%	80%	0%					
	指標3	名称	スポーツ施設利用者数	目標値	750,000人			単位	人		
		算出式・説明	市民のスポーツライフの充実のため、より良いスポーツ施設を提供することが望まれています。平成20年度からスポーツ施設の管理・運営を指定管理者が行い、より多くの市民の方がスポーツを楽しむようになることをめざします。								
		実績値	585547	645543	757490						
		達成率	78%	86%	101%	0%					
指標4	名称		目標値				単位				
	算出式・説明										
	実績値										
	達成率										
達成率の平均値					78%	84%	88%	28%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	29.6%	満足度(%)	29.4%
満足度(平均ポイント)	0	満足度(平均ポイント)	-0.01
重要度(%)	65.8%	重要度(%)	65%
重要度(平均ポイント)	0.73	重要度(平均ポイント)	0.73

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇スポーツ・レクリエーション活動の支援に関しては、平成20年度から民間事業者による自立的な運営が可能となる指定管理者制度を導入し、市民ニーズを的確に捉え、だれもがスポーツに親しめる生涯スポーツの実現に向けた施策を推進してきました。また、総合型地域スポーツクラブの活動は、より地域に根付いた取り組みが展開されたことで、多くの市民が参加しやすい環境整備が図られてきました。今後の課題としては、会員のニーズに応じた事業のバリエーションの工夫、施設の空き時間の有効活用、あらたな地域でのスポーツクラブの設立が必要です。◇スポーツ環境の整備については、老朽化に対応し計画的な改修を行ってきています。また、平成22年度中に、都市再生機構からひばりが丘団地スポーツ施設の移管を受け、市のスポーツ施設としての運営を開始することとなっています。今後も、施設整備を計画的に進めていくことで利用者の満足度や利用者数を拡大していく必要があります。				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇スポーツ・レクリエーション活動の支援に関しては、さまざまな市民のニーズに応えるために、指定管理者が実施する教室事業の充実や体育指導委員を活用した主催事業を行ない、スポーツをするきっかけづくりに今後も寄与していきます。総合型地域スポーツクラブの育成に重点を置き、東伏見地区の方々のご協力をいただきながら新たなクラブ設立に向けて準備します。◇スポーツ環境の整備については、政策や利用者の安全確保など、優先順位をつけた計画的な施設整備により、スポーツ環境整備の向上を図っていきます。また、平成25年度の国体開催は、市民がスポーツを楽しむ契機となることから、国体事業の普及・啓発を積極的に取り組んでいきます。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	VI	コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域			

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	スポーツ・レクリエーション活動の振興については、市営スポーツ施設に指定管理者制度を導入することで、コストの効率化と企画事業の充実とを図ってきたほか、総合型地域スポーツクラブによる地域に根ざした取組みを進めてきました。今後も、適時適切な施設改修等により環境の整備を行うとともに、新たな総合型地域スポーツクラブの設立等、事業の充実を図っていく必要はありますが、市民意識調査における満足度が相対的に高いことを踏まえ、コスト面では効率化を図っていくべきものと判断しました。		
施策実施方針【22】	VI	コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

創3-3 スポーツ・レクリエーション活動の振興

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	スポーツ振興事業の充実	スポーツ振興課	市のスポーツ・運動施設全12施設に指定管理者制度を導入し、各種スポーツ振興事業の充実を図ります。
	少年野球教室、少年サッカー教室等の実施	スポーツ振興課	(スポーツ振興事業の充実で実施) 市のスポーツ・運動施設全12施設に指定管理者制度を導入し、各種スポーツ施設の充実を図ります。現在指定管理者を活用した事業として実施しています。
	体育指導委員の活用	スポーツ振興課	市民の求めに応じ、地域スポーツ活動に対し助言を行うとともに、市が行う事業に協力し、地域のスポーツ振興を推進するスポーツ振興法に定められた体育指導委員が様々な事業を行っています。
2	ひばりが丘団地スポーツ施設の整備拡充に向けた調整	スポーツ振興課	ひばりが丘団地建替事業において、UR（都市再生機構）がスポーツ施設を整備拡充した上で市に移管される予定となっています。その後管理運営を一体的に行うことにより、施設の有効活用を図ります。従来市が管理しているひばりが丘運動場のほか野球場、テニスコート、管理棟・駐車場が設置される予定です。
	スポーツ施設の改修	スポーツ振興課	市民がスポーツ・レクリエーション活動を安全に行える場所を提供するため、老朽化の進んだスポーツ施設の計画的な改修を行います。
	東京国民体育大会に向けた取組	スポーツ振興課	平成25年第68回国民体育大会「東京国体」の開催に向け、実行委員会を設置し、開催準備を行う予定となっています。
	和弓道場のあり方について調査・研究	スポーツ振興課	少子・高齢社会において、生涯を通じてスポーツができる地域環境づくりの観点から、和弓道場のあり方について調査・研究を行うこととなっています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
7,664	4,432	3,232	改善・見直し(平成20年度)	中	市民のスポーツ実施率やスポーツ活動に対する満足度の向上を図るとともに、地域住民の交流、地域人材の育成、地域の安全力・教育力の向上などを促進することができます。
286,713	285,097	1,616	継続実施(平成20年度)	中	指定管理者と連携しながら市全体のスポーツ振興を図ることができます。
0	0	0	-	-	スポーツを通して子供たちの相互交流や、青少年の健全育成を図ることができます。
9,592	6,360	3,232	改善・見直し(平成19年度)	中	体育指導委員を養成して、地域住民の生涯スポーツの活動を支援することができます。
9,696	0	9,696	-	-	新規スポーツ施設の整備により、スポーツ環境の向上を図ることができます。
26,648	25,032	1,616	事業化(平成21年度)	-	市民が安全かつ快適にスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるスポーツ環境整備の向上を図ります。
17,434	1,274	16,160	-	-	東京国体を契機に、市民のスポーツを楽しむ機会が増え、市のスポーツ振興の推進に寄与することができます。
404	0	404	-	-	生涯スポーツの多様なニーズの一つとして、和弓道場のあり方を調査・研究します。
358,151	322,195	35,956			